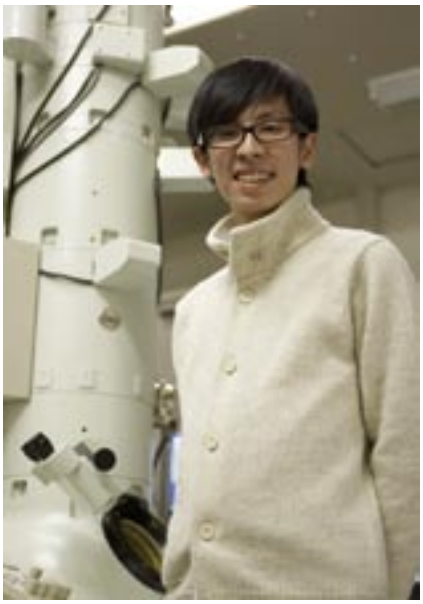
大学院生のよこがお

在籍中の総研大生にインタビューしました。（2009 年 1 月現在）

沼尾茂悟（平成 19 年度入学）電子構造研究部門・西グループ



D 論テーマ　金属－炭素接合ナノ構造体の構造と物性の研究
出身学部　理工学部／**出身地**　名古屋
ドクター進学理由　研究所という環境で研究を行ってみたかったので。
分子研の最初の印象　学生っぽい人が居なかったです。静かだと思いました。
分子研での生活　時間を忘れて研究に打ち込む事ができます。また、それを指導してくれるすばらしい人材と設備が与えられています。
後輩にひとこと　抜群に良い環境で研究が進められます。思い切って現在の皆さんの研究テーマとは違った研究を行っている研究室に飛び込んでみるのも良いかもしれません。
新しい出会いが自分の研究に非常に良い刺激を与えてくれ、研究者に必要な経験値を与えてくれます。もちろん、研究以外の楽しい時間もたくさんありますよ。
岡崎について　落ち着いた雰囲気の街なので環境は良いと思います。
最近の興味　研究面　多孔質材料について
最近の興味　研究以外　おいしい日本酒が好きだったけど、最近はワインかな

三宅伸一郎（平成 19 年度入学）光分子科学第一研究部門・大島グループ

D 論テーマ　高分解能コヒーレントレーザー分光によるベンゼンを含む分子クラスターにおける分子間振動準位構造の解明
出身学部　理学部／**出身地**　福岡県
ドクター進学理由　会社勤めに疲れたから。
分子研の最初の印象　名前を知らない人が多い。
分子研での生活　エアコンの温度調整ができない。
後輩にひとこと　がんばってください。
岡崎について　夏はセミが多くて、クワガタやカブトもいます。それ以外の季節は風の強い日が多いです。
最近の興味　研究面　実験の効率化と省エネ実験構想
最近の興味　研究以外　将来や現実に希望がなくても不安にならないこころを手に入れること

小野木覚（平成 19 年度入学）ナノ分子科学研究部門・櫻井グループ

D 論テーマ　バッキーボウルの合成および典型元素を用いた構造・物性制御に関する研究
出身学部　理学部／**出身地**　岐阜県
ドクター進学理由　一人前の研究者になるため。
分子研の最初の印象　大学の研究室とは全く違う雰囲気で、「研究するぞ。」という意識が空気を通して感じることができます。
分子研での生活　研究はもちろん、いろいろな分野の講演会やセミナー、授業に参加できるので刺激的です。海外からの研究者も沢山いるので、英語でのコミュニケーション能力も身につきます。ただ、授業が物理、理論系の内容に偏ってしまっているのが残念です。

後輩にひとこと　分子研は、研究者として、人間として、自分を磨くことができる場所です。その意識を持っていれば、他では絶対に得られない素晴らしいものが得られると思います。
岡崎について　都会すぎず、田舎すぎず、僕の肌には合ってます。春は桜、夏には花火とイベントも多く、楽しい町だと思います。しかし、車で生活するように作られた町なので、車が無いと何かと不便です。また、東岡崎周辺には単身者が少ないので、住む場所や、食べる所が限られてしまうのも悩みの種です。
最近の興味　研究面　バッキーボウル分子がどんな能力をもっているのかそして、どのように応用できるのか
最近の興味　研究以外　ロードバイク、Mac、目覚まし時計

清田泰臣（平成 20 年度入学）理論分子科学第二研究部門・平田グループ

D 論テーマ　3D-RISM 理論を用いた生体分子における分子認識に関する理論的研究
出身学部　工学部／**出身地**　群馬県
ドクター進学理由　研究に適した環境で、より深く勉強・研究をしたかったので。
分子研の最初の印象　閑静で、とても研究所らしいところと感じました。
分子研での生活　学生が少ない分、一人あたりのスペースや研究設備が充実していますので、じっくりと研究したいという人にはとてもいい環境だと思います。
後輩にひとこと　自由度が高いという意味でも、大学とは雰囲気が異なります。学生主体の研究ができるので、意欲的に行動すれば研究でも、学生生活でも充実すると思います。
岡崎について　研究所近くにショッピングモールもありますし、自然も豊かで住みやすい街ではないでしょうか。
最近の興味　研究面　G タンパク質共役型レセプターにおける分子認識
最近の興味　研究以外　お酒と料理。お酒に合うおつまみを自分で作ってます。

卒業生から　中島　洋（名古屋大学理学研究科准教授）

「あのころは、いろんなことでよく議論をしたなぁ。」というのが、総研大生として分子研に在籍したころの私の記憶です。分子研という環境がそうさせるのか、今考えると喧嘩になりそうなストレートな意見を互いの研究や未来についてぶつけ合った事もありました。総研大の利点は、構成する研究機関が持っている設備の先進性だという意見があります。確かにそうですが、私はそれ以上に、研究も出身大学も異なる少数の人間が集まっていて､直接いろんな考えをぶつけ合える（もちろんその気があればの話ですが）場としての有意性を感じました。人数が少なく、何事においても自分で考え、自分で実行する。その考えを生み出す議論が可能で、実行を支える設備がある。それが総研大だと思います。